

# 八戸盲学校・八戸聾学校 協働 相談支援センター通信

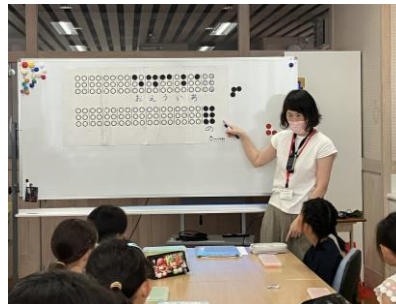
2025年

1月号

## 子ども学習会を開催しました！

盲学校・聾学校では、小・中学生を対象に子ども学習会を開催しています。

今年は、8名の児童生徒が参加し、見えにくさや聞こえにくさ、点字や指文字、簡単な手話の学習や校内探検をしました。参加してくれた児童生徒は、真剣な表情で聞き、体験活動を楽しみながら学習することができました。



児童生徒のアンケートを紹介します。

＜学習会に参加して、どんなことが分かりましたか？＞

○チャイムのときに、緑色のパトライト、地震のときは赤色が回り、目が見えない人、耳が聞こえない人は、いろいろな機会を使って勉強していることがわかりました。

(小3)

○盲学校と聾学校にはいろいろな工夫があって、通っている子たちが過ごしやすいうようにしていていいなと思いました。(小4)

○目が見えにくい人、耳が聞こえにくい人の感覚がわかりました。いろいろな見えにくさがあるとわかりました。校内にもいろいろな工夫がされているとわかりました。

(小4)

○聞こえ方や見え方に種類があること、見えない人や聞こえない人が困らないようにいろいろな工夫があること、点字や手話などいろいろな会話の仕方があること。(中1)

＜これからの自分の生活で、どのようなことに気を付けていきたいですか？＞

○目が見えにくい人や聞こえにくい人がいたら、声をかけて助けようと思いました。

(小4)

○聞こえにくい人と話す機会があったら、手話を覚えたいです。(小5)

## 第2回三八地区特別支援連携協議会及び研修会について

12月6日（金）八戸高等支援学校体育館にて連携協議会及び研修会を開催しました。  
40名の参加者がありました。

青森県教育庁学校教育課小中学校指導グループ指導主事  
小向美保子氏より「特別な配慮を要する幼児に対する相談  
対応について」情報提供をいただきました。



八戸学院大学短期大学部幼児保育学科 教授 野口和  
也氏より、「特別な配慮を要する幼児に対する早期対応の  
様子と効果的な支援のあり方」について御講演いただき  
ました。



参加された方からのアンケートを紹介します。

- 情報提供と講演内容が幼児期に関するものだったので、現実的でとても参考になった。
- 就学前支援の重要さと、そこからライフステージに応じて切れ目なくつながる重要さを改めて感じる。行政の立場で困り感を抱く親子をいかに支えられるか体制作りも含めて検討したい。
- 野口先生の講演から、自園で支援児の取り組みにプラスしていかなければならない点  
が分かり、保護者支援の大切さ等を改めて感じ、支援計画の取り組みももっと詳しく  
進め、小学校へつなげていこうと思った。
- 本日の講義を通して、こどもへの否認知的能力が育つ関わりを、保護者へは事実、解  
釈、提案のあるコミュニケーションに取り組むことが効果的だと学べた。
- 野口先生の講演が大変良かった。早期支援の大切さと同時に関係機関と連携していく  
ことの現状を考えさせられた。県庁からの情報提供も有益だったので、周知したいと  
思う。

### お知らせ

教育相談は随時受け付けております。見え、聞こえ、ことば、発達等で気になる方への支援を行っております。まずは、お電話をしていただければと思っておりますので、  
よろしくお願いいたします。